



社団法人 日本コントラクトブリッジ連盟

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル
TEL(03)3357-3741/FAX(03)3357-7444
http://www.jcbl.or.jp/ E-mail:info@jcbl.or.jp

2006年6月10日

ブリッジの日本代表ユース 予選突破!

U26チーム「世界選手権」連続出場決める!

6月4日から7日まで、タイ・バンコクで開催されていたブリッジのゾーン(地域)選手権にあたる2006年パシフィックアジア(PABF)ユース選手権U26(26歳以下)部門において、日本代表チームが9カ国・地域の中で4位に入賞、7月末にバンコクで開催の第11回世界ユースチーム選手権の出場権を前回の第10回大会に引き続き獲得した。世界ユースチーム選手権は、8つのゾーン選手権それぞれの上位入賞国が世界ナンバーワンを競う大会で、日本は4回目の出場となる。

今回のPABFユース選手権では21歳以下という年齢制限のあるU21部門が新設され、日本もU26/U21両部門に参加。日本ブリッジ史上初のU21チーム5名は、全員ブリッジを始めて1年少々というフレッシュチーム。初めての国際競技会出場というプレッシャーを押しつけて健闘したが、7カ国・地域中7位に終わった。

PABF選手権は、1957年の第1回マニラ大会以来、パシフィックアジア・ブリッジ連合加盟13の国と地域の持ち回りで毎年開催。日本は1985年の第28回シドニー大会でオープン(注:男女・年齢の制限なし)チームが、1987年の第30回上海大会でレディスチームが初優勝。昨年のソウル大会では、ユースチーム、シニアチーム揃って優勝したほか、レディスチーム準優勝、オープンチーム4位入賞で、全部門とも2005年世界チーム選手権出場を果たした。今年は日程の関係でユース部門とオープン・レディス・シニア部門は別開催となったが、後者が熱戦を展開する第44回PABF選手権は、8月20日~30日、中国・上海で開催される。

現在、イタリアのヴェロナでは第8回世界ブリッジ選手権が約70の国と地域のプレイヤーを集めて行われており(6月9日~20日)、日本からはオープン(2)、レディス(1)、シニア(1)計4チームが参加している。

世界で約1億人の愛好者がいるといわれ、日本でも静かなブームになり始めたブリッジ。2008年、北京オリンピック後に国際マインドスポーツ競技大会(インテリンピアード - 仮称)を開催する計画はIOC(国際オリンピック委員会)、GAISF(国際スポーツ連盟連合)などの国際組織と調整の大詰めを迎えているが、栄えある第1回インテリンピアードでのメダル獲得も夢ではないと思わせる最近の日本代表選手たちの活躍ぶりである。



[2006年パシフィックアジア・ユースチーム選手権 結果]

	U26部門(全9チーム)	U21部門(全7チーム)
1位	シンガポール	台湾
2位	香港	香港
3位	オーストラリア	中国
4位	日本	インドネシア
5位	インドネシア	タイ
6位	台湾	シンガポール
7位	中国	日本
8位	フィリピン	-
9位	タイ	-

本件の問い合わせ先: 社団法人 日本コントラクトブリッジ連盟 (担当:高橋)

Tel:03-3357-3741 Fax:03-3357-7444 E-mail:info@jcbl.or.jp